



平成31年3月 No36

発行：大山町姉妹都市委員会
中山国際交流協会

国際交流協会の活動報告

《中山国際交流協会》

様々な機会を通じて交流を深めました。

☆研修会・総会・懇親会

2018.3.10 (土) 焼肉ハウスおこ

☆観桜会

2018.4.21 (土) テメキュラヒル

記念植樹をした桜の花が満開の中、テメキュラヒルで観桜会を行いました。

☆夕涼み焼肉パーティー

2018.7.7 (土) 上屋付き多目的広場

☆わいわいフェスティバル

2018.11.3 (土) 中山農業者トレーニングセンター

☆訪米団報告会&クリスマスパーティー

2018.12.22 (土) 友好館



クリスマスパーティーにて

中山支所にテメキュラルームができました

大山町役場中山支所2階の庁議室にテメキュラ市との交流についての展示をし、会議等での利用時などに見ていただけるようになりました。

テメキュラ市の庁舎に「なかやまルーム」があり、会議に使用できる部屋ですが、交流に関する展示がしてあります。大山町でも同じ取り組みをしたいとの意向から設置することとなりました。

部屋の入り口の看板は、青年部の高見杏実さんに描いてもらうこととしています。出来上がりが今から楽しみです。

皆さん、一度のぞいてみてください。



テメキュラルームの展示



テメキュラ市との交流の当初からご尽力くださった、テメキュラ市・元市長ロン・ロバーツ氏が2月4日にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

《日韓親善交流協会》

今年度も様々な機会を通じて交流を深めました。

☆襄陽郡より来町 2018.6.1~3

☆総会 2018.6.24 (日) 名和公民館

☆襄陽郡へ中学生訪問 2018.8.7~10

☆襄陽郡まつたけ祭りへ訪問
2018.9.28~10.2



記念品をいただきました



山開き前夜祭ステージでのスピーチ (襄陽郡より来町)

お知らせ

中山国際交流協会発行のハローが大山町のホームページで見ることができるようになりました。
▶大山町ホームページ <http://www.daisen.jp/>

テメキュラで“たくさん”交流してきました!

中学生訪問団

2018.7.25~8.5

- 中山中 赤川七海(3年)、澤田麗奈(3年)、中井琳菜(3年)
- 名和中 船田 和(3年)、美柑心美(2年)
- 大山中 森田李子(3年)
- 引率 前田繁之(大山町教育委員会事務局)



大山の四季の写真をバックに、 大山賛歌を歌う生徒たち

今年も6名の中学生は、事前研修やスピーチ・プレゼン練習に積極的に取り組みました。今年は、大山開山1300年にちなんだイベントや大山の恵みについてプレゼンを行いました。発表を観ていたテメキュラの人々は「たいまつ行列」に非常に興味を抱いたようで、このイベントの意味やいつ頃行われるのかについて質問をする人もいました。

交流に参加した生徒たちは、「コミュニケーションの大切さ」「感謝の気持ちや相手への思いやりの心」を学び、また1つ成長したようでした。



今年もたくさんのテメキュラ市の方々に
温かく迎えていただきました。

大人の訪問団

2018.11.26~12.5

- 谷尾 良 ● 山根 孝正 ● 柏尾 正樹
- 田中 敏久 ● 勝部 浩美

大山町国際交流事業に思うこと

谷尾 良

「交流」という名の意味するものは何か。

国際交流(国外)、異業種交流、異文化交流、世代間交流(三世交代)、地域間交流、姉妹都市交流という名も(国外、国内)等々。何か判るような気がする。

「交流」とは人間関係を構築する上での貴重な言葉と言えます。人と人、地域コミュニティを構築しているのが「交流」という文字から始まっているのかな。



プレゼントディナーで、楽しく過ごしました



ウェルカムレセプションにて

「継続は力なり」月並みの言葉。でもそう簡単にできるものではない。テメキュラ市との交流は、今年で25年になると聞く。「継続は力なり」という言葉は全てにおいて相当なエネルギーを使い事業の継続に努力した人こそ使える言葉だ。

私自身、今から5年前の20周年記念の節目の年にテメキュラ市をはじめ訪問した。近隣では他に類を見ない国際交流事業と認識している。「大いに自慢できる事業」と思う。この事業を断つてはならない。

私は「井の中の蛙」「自分の世界から脱しきれない人」「失敗を恐れる人」「何もしないで批判は人並み以上にする人」「自分で提案しながら自分で仕切らず人の力を借りる人」等々、「そんな人間にはなりたくない」と思う今日この頃である。